

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム  
実施状況および成果

|               |                                                                                                                                                                                                 |             |    |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|----|
| プログラム名        | ベトナムFPT大学 ビジネス英語及びインターンシッププログラム                                                                                                                                                                 |             |    |
| 学部・研究科名       | グローバル教育推進センター                                                                                                                                                                                   |             |    |
| 実施期間          | 2016年2月25日～3月20日                                                                                                                                                                                |             |    |
| 研修先(国・都市・施設名) | ベトナム・ハノイ・FPT大学                                                                                                                                                                                  |             |    |
| 参加学生数         | 13名                                                                                                                                                                                             | 知の森基金からの支援者 | 6名 |
| プログラム概要       | 信州大学の大学間交流協定校であるベトナム国内大手ICTグローバル企業が設立したFPT大学で行われた3週間のプログラム。プレゼンテーションやディスカッション等に焦点を当てた英語研修で、ビジネス現場において求められるスキルを高めた後、FPT系列企業及び現地高校でのインターンシップを経験した。また、現地学生や他国の留学生との寮生活やイベント等を通して異文化理解や英語での発信力を高めた。 |             |    |

実施状況・成果

英語授業では、主にプレゼンテーションやディスカッションに焦点を当てた授業が行われ、ビジネス現場において求められるスキルを向上させることができた。英語力に自信のなかった学生や、話すことに抵抗を感じていた学生も、臆せず会話ができるようになり、更に英語力を伸ばしたいと考えている学生が多く見られた。

インターンシップでは学生の専攻や興味に合わせてFPT系列企業及び現地高校で実施された。FPT系列企業では主にマーケティングについて学び、「FPTの製品やサービスをどのように日本にプロモーションするか」というテーマでリサーチ及びプレゼンテーションを行った。英語授業で学んだ内容を活かし、堂々と発表を行う姿が見られた。現地高校ではアクティビティを取り入れた授業を1人ずつ行い、日本に関心を持っている現地学生と一緒に楽しんだ様子であった。

滞在は学生寮で、ブルネイの学生と同室だった。英語が堪能で、明るく、積極的なブルネイの学生との交流を通して、英語での発信力を高めることができた。また、ムスリムである彼らとの交流により、異文化理解を深め、視野を広げることができた。更に週末の異文化体験ツアーやイベント等を通してベトナム人学生とも多くの交流機会を持ち、良い関係を築いた。

環境、衛生面などで日本と差異があるベトナムでの生活で、「精神的に成長した」、「タフさを身につけることができた」と答える学生も多かったことはこの研修の当初の狙い以上の成果の1つと考える。また、この経験から海外で働くことをより現実的なプランとして考える学生も出てきている。

以上のように、英語学習、異文化理解、視野の拡大などで大きな成果が見られるプログラムだった。

学生の声①ー繊維学部 学生

この研修を通して、語学力自体は短期間で伸びた感じはしないが、語学を学んだその先のビジョンをはっきりと見ることができた。みんなが英語が母語ではないからこそなんとかして伝えようとするし、さらに言えば英語だけではなく他の言語も理解しておくことがコミュニケーションが円滑になるとわかった。もっと自分の言いたいことをはっきり伝えるために足りない能力を補うことを心がけながら勉強を続けていきたいと思う。また、精神的に成長したと思う。いままで海外に行ったことがなくて、どんな感じなのかすらわからずすこしだけ恐れていたが、ちゃんと3週間過ごすことができた。未知のものは怖いけど、恐れる必要はなくて、困難にぶつかってもいろいろな人の助けを借りたり、自分で落ち着いて対処すれば乗り越えられるとわかった。

学生の声②ー理学部 学生

様々な国の方と接し、多くの人と交流ができました。最初は内気な私でしたが、だんだん、自ら話しかけようという積極性が生まれ、とても楽しくなっていました。また、信州大学生の先輩や友達の姿を見て、すごく刺激になりました。いろいろな経験を持った人がいたようですが、皆海外への関心がとても強く、できることは何でもやろうとする積極性の高い人たちでした。私もそんな人になりたいと強く思い、これからの目標でもあります。ベトナムの人々は皆、温かい人たちばかりで、たとえ英語が通じなくても、なんとかコミュニケーションを取ろうとしてくれたのは、本当にうれしかったです。

Japanese Culture Dayで茶道を紹介



クロージングセレモニーでの集合写真

